(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 8 月 30 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490500265		
法人名	株式会社 くれせん		
事業所名	グループホーム すまいる焼山		
所在地	〒737-0936 広島県呉市焼山東1-19-47 (電話) (0823) 33-7373		
自己評価作成日	令和5年7月31日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490500265-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年8月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>グループホームすまいる焼山は周りを山で囲まれ、のどかな雰囲気が特徴です。地域との交流も盛んで、地域の祭りや餅つきには毎年、参加し入居者様も大変喜ばれています。家族的な雰囲気の中で、職員と一緒に料理をしたり、散歩に出かけたりして、利用者に寄り添い笑って生活できる我が家を目指しています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>お客さまの「すまいる」は、スタッフの「すまいる」からをケアサービス事業部の考え方として提示し、事業所独自のチェックシートを活用し、毎日を振り返り自己研鑽に努めている。外出自粛の昨今、事業所室内で出来る行事を職員の提案やアイデアなどにより積極的に取り組み、食事レクリエーション、誕生日会など充実を図っている。又、今後に向けて、地域行事や多方面からの情報を得て、全員で参加が出来るよう検討している。担当制にしているが、利用者全員の状況や情報が共有出来るよう、チームケアの支援に日々取り組んでいる。</p>

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「自然に囲まれた静かな環境と家庭的なあたたかさ作りを心掛け安心して暮らせる施設」を掲げ、実施している。	起業理念をもとに、ケアサービス事業部の考え方を掲げ、職員が「すまいる」で働く事が大切だと考え、今年度は『言葉づかい』をテーマに、ケアを実践する上での原点としてチェックシートを活用し、毎日自己評価を行い、月1回の管理者との面談で検証し、利用者の「すまいる」に繋がる取り組みをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	例年は地域の祭りや餅つき大会等の行事に参加するなど交流が持てたが、今年はコロナウイルス感染予防の為、殆どの行事が中止となる。	コロナ禍で地域との交流が困難な状況ではあったが、最近、町内会会長から声掛けがあり、祭りに参加した際、利用者のための椅子が準備してあった。今後も地域住民の一員として協力関係の構築に努める考えである。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	例年は運営推進委員会を通して自治会、民生委員、老人会に情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	例年は2か月に1回実施しているが、今年はコロナウイルス感染予防の為、昨年5月より中止となる。8月～開催予定。	新型コロナウイルス感染症予防の為、運営推進会議は開催されていない。家族にはアンケート用紙を送付し、多数の関係者の参加が得られ、事業所の状況報告、活動報告など行い、意見交換の場になるよう9月から開催予定である。	コロナ禍で参加者との交流が出来てない現状ではあるが、今後は事前に資料の送付を行い、参加が得られよう取り組み、意見や要望をサービス向上に活かす事を期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターには運営推進会議に出席していただき意見やアドバイスをもらっている。市役所には介護保険の更新時や不明な事がある時は足を運んだり、電話で問い合わせ、相談をしている。	更新時や事故報告など主に介護支援専門員が担っている。不明瞭な点、相談など電話や出向くなどして連携を図り、協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について、不適切だと思われる対応があれば、皆で検討し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について年2回、虐待防止について年2回の研修を実施している。ミーティングで骨折の原因など個々に検討し、改善策など情報共有している。又、スピーチロックや言葉づかいなど事業所独自のチェックシートを活用し、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修会を実施。職員全体で虐待に繋がりそうな段階で注意し合い対策を考える。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用されている方もおられ、手続きのサポートをしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時、説明する時間を十分に設け、納得のうえ入居していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時やお電話、お便り等で状況を報告し、意見が出しやすい話し方を心掛けている。	感染症対策を行っての面会や電話、写真付きの「すまいる便り」を送付し、意見や要望が話しやすい環境を作っている。水分摂取の少ない利用者に家族からジュースが好みと聞き、糖分の事も考慮してお茶をゼリー状にする事で、水分補給が出来るようになった事例がある。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員個人個人の意見や悩み等を聞き、働きやすい職場になるよう努めている。</p>	<p>ミーティングや月1回の管理者との面談やフロアーリーダーを通じて意見や提案を聞く機会を設けている。行事や有休休暇希望など話しやすい環境作りをしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>雇用通知書にて掲示している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>外部研修へ参加。費用負担の実施。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>呉市主催の研修、県介護福祉士会主催の研修の参加。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>ケアマネジャーから情報を収集し、入居前に自宅を訪問。生活環境を確認し本人、家族に細かく聞き取りを行う。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	密に連絡をとり、オープンクエスチョンを心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族と連携を取りながら、変化や状況に応じて他施設の紹介も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者様本位で考え一緒に寄り添いながら色々な事に取り組んでいる。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご利用者に何か変化があった時や可能な限り要望を伝え、関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人、知人の面会は基本的には歓迎し、面会できない時には電話で話していただく等、配慮している。	利用者の声を聞いて貰うよう電話の取り次ぎや病院受診、2か月に1回の訪問美容の際には毛染めを希望される利用者もいるなど馴染みの関係が出来ている。大切にしてきた人や場との関係が途切れないよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の思いを配慮し、ダイルームでも落ち着いて過ごしていただけるような環境作りを実施している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時、今後も相談などお聞きできる事を伝え、電話や来所された時には対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を聞き取り、自分で出来る事はしていただいている。聞き取りが困難な方は日常生活の会話の中で意向をくみ取り職員間で共有している。	生活歴や趣味、嗜好を日頃の介護をする中で情報共有し、表出の困難な利用者は表情やジェスチャーなどで意向を把握し、一人ひとりの思いや希望を申し送りノートに記入して共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ケアマネジャーから情報を収集し、入居前に自宅を訪問し、細かく聞き取りを行う。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	今までの生活歴を把握し、好きな事は続けていただきながらその日の体調、気分に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>会議ができない時は、連絡ノートや業務日誌などで状況を報告しチームで情報を共有している。</p>	<p>本人・家族の意向を踏まえた介護計画を作成している。毎月のモニタリングやケース記録などによる情報、職員の提案や必要に応じて医療機関などの助言や意見を反映した介護計画を作成している。半年に1回の見直しや身体状況に変化があればその都度見直しをしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々、個別にケース記録に記入し、活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人一人のニーズに合わせた介護計画を作成し。状態に変化があれば、その都度、見直し、検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>施設のすぐ近くの公園を散歩したり、草取りなど手伝っていただくことで、楽しみが持てるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月に一回の往診を実施し、頻りに連絡を取っている。必要であれば、かかりつけ医へ受診にも行っている。</p>	<p>利用開始時かかりつけ医の説明、確認をしている。協力医療機関の月1回の訪問診療や常勤看護師による健康管理、緊急時対応など医師との連携体制も整っている。他科受診は家族の協力を得て行っているが必要であれば職員も同行している。診療後の状況報告を家族に行っている。訪問歯科は2週間に1回ある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職場内の看護師と、常に連携をとり、何か変化があれば相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は医療機関のソーシャルワーカーと頻りに連絡をとり、退院に向けての連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師、ご家族と話し合いながら、ご家族、ご本人の思いをくみ取っている。	「重度化した場合における対応、及び看取りに関する指針」を説明し確認している。看取りの経緯もあり、重度化した場合、家族や医師など関係者でカンファレンスを行い方針を決め、看取り計画を作成し、医療機関との連携を図りながら、本人・家族の思いに寄り添う支援を実践している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職場での勉強会を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の指導のもと、避難訓練を実施している。	消防署立ち合いの下で火災訓練を利用者参加でしている。避難経路確保の確認、AED使用の指導など実施している。次回は土砂災害訓練を予定している。停電時に備えて懐中電灯を廊下壁面に設置している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の業務の中で職員の言葉かけが馴れ馴れしいなど気になるころがあれば、その都度注意している。個人情報の取り扱いに留意し守秘義務を厳守している。	年1回プライバシー保護の研修をしている。一人ひとりの尊厳とプライバシーの確保を重視し、言葉づかいや節度ある言葉かけが出来るよう意識づけをしている。「○○様」、職員同士で話す時などは「部屋番号」で呼ぶなど工夫している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	認知症の進行により、意思表示が難しくなっている方もおられるが、日頃の関わりの中で本人の意向をくみ取り支援につなげている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様本位で考え、出来る限り本人のペースで過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で化粧される方もおられたり、定期的な訪問美容では髪の毛のカットと化粧をして気分転換ができています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べ物の好みを聞き、定期的に野菜切り等手伝っていただきながらホーム食を提供している。	3食配食サービスの献立を提供している。汁物、ご飯は事業所内で調理している。汁物の野菜切り、食器洗い、盆拭きなど出来る事を利用者がしている。畑で収穫した野菜が一品に、行事食に寿司、おやつに手作りおはぎ、誕生日にはケーキなど食が楽しめるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量は常に記録し、職員で把握し少なければ促している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>週1回の訪問歯科によるクリーニングや、1日3回の口腔ケアを実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、可能な限り、トイレでの排泄ができるよう取り組んでいる。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的に声掛け誘導や自分でトイレに行かれる方、布パンツにパット装着の方などトイレで座位にての排泄に繋げている。毎朝オリゴ糖摂取で便秘予防をしている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量や薬の調整など看護師と医師とで連携し、排泄管理を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体調や気分配慮しながら、無理強いせず、出来るだけタイミングに合わせて対応している。</p>	<p>週2回の入浴を基本としている。体調や気分など柔軟に対応している。衛生を保つため湯の入れ替えや湯量の調整など工夫している。入浴剤、自分のシャンプー、入浴後の保湿剤、着替えなど入浴を楽しむ支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の生活習慣やその日の体調や気分に応じて、日中も休んで頂くなど対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>主治医、薬剤師、看護師と連携し対応している。職員も薬について把握している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の能力に応じてお手伝いをお願いしたり、レクリエーションなど行い楽しめる時間を作り、気分転換している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナウイルスの影響で外出が出来なかった為、室内で行事を多数行った。現在ドライブ等、徐々に外出機会を増やしている。</p>	<p>外出自粛中で誕生日会、食事レクなど室内行事をしている。百歳お誕生日のお祝いを行い、演芸会、紅白饅頭を用意するなど笑顔が溢れる一日となるよう取り組んでいる。車で(呉の灰ヶ峰、花火大会)外出を実施した。気候の良い日の散歩やドライブなど外出の機会を増やせるよう検討している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人用のお金を預かり、要望があった時には了解を得て対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>手紙のやり取りや直接ご本人と電話で会話して頂くよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>職員で分担して掃除を行い、清潔保持に努めている。壁には季節に合わせた手作りの作品を飾り温かい雰囲気づくりを心掛けている。</p>	<p>清潔感や空調管理に努め、コミュニケーションがとりやすいよう、机、椅子の配置、体型に合うよう足台やクッションを使用している。壁に時計、カレンダー、季節感ある作品の展示をしている。又、かるた取りや歌など寛いで過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共有空間では、無理強いせず、ご本人の体調や気分に応じ毎日トランプやかるた、体操などを楽しむ時間を設けている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居前に使用していた馴染み物を出来るだけ取り入れご希望を聞きながら心地良い空間となるように心掛けている。</p>	<p>エアコン、ベット、クローゼットを設置している。本人・家族と相談し、使い慣れた馴染みの物、仏壇や家族の写真など持ち込み、居心地よく過ごせるよう工夫している。夜間排泄時にベットからポータブルトイレに移動しやすいよう設置している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ご本人の残存機能を生かして、自立した生活が出来るよう環境整備を整えている。</p>		

V アウトカム項目(1ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	☐	☐ ①ほぼ毎日のように ☐ ②数日に1回程度 ☐ ③たまに ☐ ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	☐	☐ ①大いに増えている ☐ ②少しずつ増えている ☐ ③あまり増えていない ☐ ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	☐	☐ ①ほぼ全ての職員が ☐ ②職員の3分の2くらいが ☐ ③職員の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての利用者が ☐ ②利用者の3分の2くらいが ☐ ③利用者の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての家族等が ☐ ②家族等の3分の2くらいが ☐ ③家族等の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「自然に囲まれた静かな環境と家庭的なあたたかさ作りを心掛 け安心して暮らせる施設」を掲げ、実施している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	例年は地域の祭りや餅つき大会等の行事に参加するなど交流が持てたが、今年はコロナウイルス感染予防の為、殆どの行事が中止となる。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	例年は運営推進委員会を通して自治会、民生委員、老人会に情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	例年は2か月に1回実施しているが、今年はコロナウイルス感染予防の為、昨年5月より中止となる。8月～開催予定。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	地域包括支援センターには運営推進会議に出席していただき意見やアドバイスをもらっている。市役所には介護保険の更新時や不明な事がある時は足を運んだり、電話で問い合わせ、相談をしている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について、不適切だと思われる対応があれば、皆で検討し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	研修会を実施。職員全体で虐待に繋がりそうな段階で注意し合い対策を考える。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	実際に成年後見制度を利用されている方もおられ、手続きのサポートをしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居の契約時、説明する時間を十分に設け、納得のうえ入居していただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時やお電話、お便り等で状況を報告し、意見が出しやすい話し方を心掛けている。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	職員個人個人の意見や悩み等を聞き、働きやすい職場になるよう努めている。		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	雇用通知書にて掲示している。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	外部研修へ参加。費用負担の実施。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	呉市主催の研修、県介護福祉士会主催の研修の参加。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	ケアマネジャーから情報を収集し、入居前に自宅を訪問。生活環境を確認し本人、家族に細かく聞き取りを行う。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>密に連絡をとり、オープンクエスチョンを心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご家族と連携を取りながら、変化や状況に応じて他施設の紹介も行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>利用者様本位で考え一緒に寄り添いながら色々な事に取り組んでいる。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご利用者に何か変化があった時や可能な限り要望を伝え、関係作りに努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>友人、知人の面会は基本的には歓迎し、面会できない時には電話で話していただく等、配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	個々の思いを配慮し、デイルームでも落ち着いて過ごしていただけるような環境作りを実施している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了時、今後も相談などお聞きできる事を伝え、電話や来所された時には対応している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意向を聞き取り、自分で出来る事はしていただいている。聞き取りが困難な方は日常生活の会話の中で意向をくみ取り職員間で共有している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族、ケアマネジャーから情報を収集し、入居前に自宅を訪問し、細かく聞き取りを行う。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	今までも生活歴を把握し、好きな事は続けていただきながらその日の体調、気分に応じて対応している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>会議ができない時は、連絡ノートや業務日誌などで状況を報告しチームで情報を共有している。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々、個別にケース記録に記入し、活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>一人一人のニーズに合わせた介護計画を作成し、状態に変化があれば、その都度、見直し、検討している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>施設のすぐ近くの公園を散歩したり、草取りなど手伝っていただくことで、楽しみが持てるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月に一回の往診を実施し、頻繁に連絡を取っている。必要であれば、かかりつけ医へ受診にも行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	職場内の看護師と、常に連携をとり、何か変化があれば相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は医療機関のソーシャルワーカーと頻りに連絡をとり、退院に向けての連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	医師、ご家族と話し合いながら、ご家族、ご本人の思いをくみ取っていきようとりくんでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	職場での勉強会を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の指導のもと、避難訓練を実施している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々の業務の中で職員の言葉かけが馴れ馴れしいなど気になるところがあれば、その都度注意している。個人情報の取り扱いに留意し守秘義務を厳守している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	認知症の進行により、意思表示が難しくなっている方もおられるが、日頃の関わりの中で本人の意向をくみ取り支援につなげている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様本位で考え、出来る限り本人のペースで過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で化粧される方もおられたり、定期的な訪問美容では髪の毛のカットと化粧をして気分転換ができています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食べ物の好みを聞き、定期的に野菜切り等手伝っていただきながらホーム食を提供している。		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量、水分量は常に記録し、職員で把握し少なければ促している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>週1回の訪問歯科によるクリーニングや、1日3回の口腔ケアを実施している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、可能な限り、トイレでの排泄ができるよう取り組んでいる。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>水分量や薬の調整など看護師と医師とで連携し、排泄管理を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>体調や気分配慮しながら、無理強いはせず、出来るだけタイミングに合わせて対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>個々の生活習慣やその日の体調や気分に応じて、日中も休んで頂くなど対応している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>主治医、薬剤師、看護師と連携し対応している。職員も薬について把握している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>個々の能力に応じてお手伝いをお願いしたり、レクリエーションなど行い楽しめる時間を作り、気分転換している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナウイルスの影響で外出が出来なかった為、室内で行事を多数行った。現在ドライブ等、徐々に外出機会を増やしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>個人用のお金を預かり、要望があった時には了解を得て対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(2ユニット)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	手紙のやり取りや直接ご本人と電話で会話して頂くよう支援している。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	職員で分担して掃除を行い、清潔保持に努めている。壁には季節に合わせた手作りの作品を飾り温かい雰囲気づくりを心掛けている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	共有空間では、無理強いせず、ご本人の体調や気分に応じ毎日トランプやかるた、体操などを楽しむ時間を設けている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	入居前に使用していた馴染み物を出来るだけ取り入れご希望を聞きながら心地良い空間となるように心掛けている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	ご本人の残存機能を生かして、自立した生活ができるよう環境整備を整えている。		

V アウトカム項目(2ユニット) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	☐	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	☐	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	☐	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	☐	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	☐	☐ ①ほぼ毎日のように ☐ ②数日に1回程度 ☐ ③たまに ☐ ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	☐	☐ ①大いに増えている ☐ ②少しずつ増えている ☐ ③あまり増えていない ☐ ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	☐	☐ ①ほぼ全ての職員が ☐ ②職員の3分の2くらいが ☐ ③職員の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての利用者が ☐ ②利用者の3分の2くらいが ☐ ③利用者の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐	☐ ①ほぼ全ての家族等が ☐ ②家族等の3分の2くらいが ☐ ③家族等の3分の1くらいが ☐ ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームすまいる焼山

作成日 令和5年10月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	コロナ禍ということもあったので、運営推進会議でのご家族様参加が出来ていない。ご家族様・地域の方との交流が出来ていない。	ご家族様にも運営推進会議での参加を促す。	運営推進会議を行っていることをご家族様に手紙などで伝え、参加していただけるように促す。また参加が難しい時はアンケートに答えていただけるようにする。	6ヶ月以内
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。